

1 学期始業式 式辞

令和5年4月10日

改めまして、みなさん、おはようございます。

いよいよ、令和5年度が始まります。今年は、桜の開花が大変早く、校内の桜もすでに満開の時期を過ぎ、若葉の緑が木々を彩り、新しいスタートを感じさせてくれています。みなさんも、新しい年度を迎え、期待と緊張で、わくわく感と同時に不安感も少し感じているのではないのでしょうか。

この季節は、新しい出会いの季節です。新しいクラス、新しい仲間たちとの会いを自分の世界が広がるチャンスと考えて、何か新しいことにも挑戦してみましよう。

よく、「チャンスの女神には前髪しかない」といわれます。チャンスは、一瞬で過ぎ去るものだから、すぐにつかまなければならないということです。そのためには、準備をしっかりとして…ということになります。つかみ損ねてしまったら、もうチャンスは訪れないのでしょうか？

「賢い者はチャンスを見つけるよりも、自ら多くのチャンスを創り出す。」哲学者のフランシス・ベーコンの言葉です。

過ぎ去ったことを悔やむより、自分とは違う考えや価値観を持った人と積極的に交流すること、一緒に学んだり、活動したりして、考えをしっかりと伝え、理解を深めること。自分と似た考えの人と、ずっと一緒に過ごすしていると新しい考え方に接する機会が少なくなってしまう。そんな見方もあるんだとお互いに感心し合うことで想像力や関心は広がります。人は関心を寄せるものが多いほど、チャンスが増えるのではないかと思います。

最近読んだ本に書いていたことですが

ある人が、教会を建てているレンガ職人3人に対し「何をしているのですか？」と問いかけます。すると、三者三様の答えが返ってきます。

1人目の職人は「レンガを積んでいるんだ。」

2人目の職人は「教会をつくっているんだ。」

3人目の職人は「歴史に残る大聖堂をつくっているんだ。」

同じ仕事をしていても、その仕事に大きな意義が感じられるかどうかは、人によって異なります。3人目の人は、仕事が面白いことはもちろん、他の人々にも役立つと思えるような目的意識を持っています。

みなさんの日々の学習やクラブ活動も同じだと思います。当たり前のことを日々当たり前前に積み重ねていくことが、自己実現につながる。なれる最高の自分になる近道と言ってきましたが、簡単そうで難しいことです。でも、目的意識を持って取り組むことで、人生や学習・仕事に対する満足度・幸福度の高まりに繋がり、継続する力や、やり抜く力につながります。

みなさんには、

- ・目の前にあることを楽しんで全力で取り組むこと。
- ・うまくできないことがあっても、昨日よりも「うまくできるように」、工夫して、少し上回る目標を設定して再度やってみること
- ・目標を持って取り組むこと「今やってることは〇〇につながっている」と考えること

と

・今の努力は結果につながると思うことを意識してほしいと思っています。

明日、360名の新入生を迎えます。

3年生のみなさんには、最上級生としての「自覚ある行動」を期待します。

後輩へのよき道しるべになる行動をし、高校生活最後の1年を大切に過ごしてください。

2年生のみなさんには、学習はもとよりクラブ活動や学校行事に中核として精力的に活動してほしいと思います。

そして何より、お互いに認め合うこと。

誰かが、疲れて心が折れそうになったときに、お互いに支え合うこと。

を大切にしてください。

みなさん一人一人が充実した高校生活を送ることを願い、1学期始業式の式辞とします。